

平成20年12月9日

# 感覚環境のまちづくり シンポジウム

主催：環境省  
共催：社団法人日本アロマ環境協会

今、まちに求められているのは、かおり・音・光・熱といった五感で感じる「感覚環境」の豊かさです。各地で進められているさまざまな事例を知り、「感覚環境のまちづくり」の今後の展望について、ともに考えてみませんか。

協力：社団法人におい・かおり環境協会  
社団法人日本騒音制御工学会  
社団法人国際環境研究協会



## プログラム

(敬称略・以下同)

- 18:00～18:05 **開会挨拶**  
環境副大臣 **吉野 正芳**
- 18:05～18:40 **イメージフレグランスコンテスト2008表彰式**  
講評：国際香りと文化の会会長 **中村 祥二**  
**環境に配慮した光のまちづくりについて**  
照明デザイナー **石井 幹子**
- 18:40～19:00 **基調講演「感覚環境のまちづくりに向けて」**  
東京大学大学院工学系研究科教授 **花木 啓祐**
- 19:00～19:20 **「音環境の面からのまちづくり」**  
財団法人小林理学研究所理事長 **山下 充康**
- 19:20～19:30 (休憩)
- 19:30～20:00 **「五感に楽しいまちづくりを訪ねて」**  
作家・五感生活研究所代表 **山下 柚実**
- 20:00～20:20 **「奈良町の五感によるまちづくり -ワークショップ報告-」**  
社団法人奈良まちづくりセンター顧問 **横井 紘一**
- 20:20～20:35 **感覚環境のまちづくりの推進に向けての環境省の取組**  
環境省 水・大気環境局大気生活環境室長 **志々目 友博**

## 展示コーナー



イメージ  
フレグランスコンテスト  
2008  
受賞作 かおり体験

# 感覚環境のまちづくりシンポジウム

## 講演者プロフィール

(敬称略・以下同)



### 石井 幹子 (いしい もとこ) 照明デザイナー

東京芸術大学美術学部卒業。フィンランド、ドイツの照明設計事務所勤務後、石井幹子デザイン事務所設立。都市照明からライトオブジェや光のパフォーマンスまでと国内外で幅広く活躍する照明デザイナー。主な作品は、東京タワー、東京駅、レインボーブリッジ等のライトアップ、函館市や長崎市の景観照明、飛騨白川郷の月明り照明など。近年はオペラや野外能の照明にも取り組む。日本照明賞、東京都文化賞をはじめ、北米照明学会より大賞及び優秀賞を受賞する等、国内外での受賞多数。2000年秋、照明デザインへの貢献により、紫綬褒章を受章。著書「光未来」「光の21世紀」「光の創景」「光無限」他。新著「新・陰翳礼讃」(祥伝社)。光文化フォーラム代表として、国内外の光文化の継承・発展にも力を注いでいる。



### 花本 啓祐 (はなき けいすけ) 東京大学大学院工学系研究科教授

1952年神戸市生まれ。東京大学において大学院工学系研究科都市工学専攻教授を務め、サステナビリティ学連携研究機構(IR3S)の教授を兼任。人の生活の質を高く保ち、環境への負荷が低いような社会や都市をどのようにすれば作り出せるか、その解決をめざして研究を進めている。専門は温暖化対策、廃棄物や物質フロー解析、水環境問題、ヒートアイランド対策、などを中心とした都市環境工学で、地球温暖化問題を基本として都市の物質代謝の問題、環境の価値の評価などに取り組んでいる。また、サステナブルキャンパス活動を推進している。日本水環境学会会長、環境科学会理事、土木学会理事、廃棄物学会評議員などを務める。著書に「都市環境論」(岩波書店)などがある。



### 山下 充康 (やました みつやす) 財団法人小林理学研究所理事長

1938年東京都港区六本木生まれ  
1964年3月 学習院大学大学院自然科学研究科物理学専攻 修士課程修了  
1979年3月 工学博士(東京大学)  
著書:『騒音工学』(そうおんこうがく) 1988年5月 コロナ社刊(共著)、『音戯話』(おとぎばなし) 1989年 コロナ社刊、『音響額』(おんきょうがく) 1991年12月 建築技術刊、『耳の建築-都市のささやき』1994年3月  
1974年6月 佐藤論文賞受賞(日本音響学会)  
1994年6月 環境保全功労賞受賞(環境庁)



### 山下 柚実 (やました ゆみ) 作家・五感生活研究所代表

1962年東京都生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。身体と社会との関わりに関心を持ち、美容整形、エイズ問題、五感などをテーマに取材。第一回小学館ノンフィクション大賞優秀賞。「五感/感覚」をテーマにしたワークショップや講演活動も展開中。著書に『五感生活術』(文春新書)、『「五感力」を育てる』(中公新書ラクレ・共著)、『<五感>再生へ』(岩波書店)、『都市の遺伝子』(NTT出版)、『給食の味はなぜ懐かしいのか?』(中公新書ラクレ)、『客はアートでやって来る』(東洋経済新報社)他多数。環境省「感覚環境の街作り検討会」委員「ユズジャーナル」<http://www.yuzumi.com/>



### 横井 紘一 (よこい こういち) 社団法人奈良まちづくりセンター顧問

1941年生まれ。ATA(オール高島屋エージェンシー)代表取締役社長、信州大学感性工学科教授を経て、現在は視覚伝達デザイン研究所所長、信州大学教育特任教授、奈良まちづくりセンター顧問。専門分野:感性景観工学(感性による景観評価-奈良町を事例に、東京・信州・奈良の景観想起値比較など)、デザイン論  
著書:構想大学デザイン学部(プレジデント社)、なんば物語など。



### 志々目 友博 (ししめともひろ) 環境省水・大気環境局大気生活環境室長

1984年に厚生省入省(環境庁水質保全局水質規制課)。環境省水環境部地下水・地盤環境室長、千葉市環境保全部長等を歴任し、2007年7月より環境省水・大気環境局大気生活環境室長として、騒音・振動、悪臭、光害、ヒートアイランド対策に取り組む一方で、よりよい感覚環境(音、かおり、光、熱)の推進を図るなど、大気生活環境行政全般を担当している。